



樽前山
溶岩ドーム
生成100周年

『私たちの樽前山をもっと知ろう!』

9月27日(日)

樽前山 登山学習会

今年は、樽前山山頂に現在の溶岩ドームができた1909年の噴火から100年目にあたります。火山専門家・宇井忠英北海道大学名誉教授の解説のもと、ふだんは立ち入りが規制されている溶岩ドームに近づいて火口の状況を見学したり、登山ルート沿いで樽前山が作った地形や噴出物、火山観測機器について学習し、生の火山活動を体感してみませんか？

と き 平成 21 年 9 月 27 日 (日) 樽前山 7 合目駐車場 8 時集合～ 15 時解散 (雨天中止)

対 象 市内にお住まいの方、または勤務されている方 (小中学生は保護者同伴)

定 員 30 人程度

持 ち 物 トレッキングシューズ、タオル、軍手、弁当、飲み物

参 加 費 500 円 (保険代等で、登山当日に環境防災総合政策研究機構が現地徴収します)

お問合せ

〒053-8722 苫小牧市旭町 4 丁目 5 番 6 号 危機管理室

TEL : 32-6280、FAX : 33-0474、E-mail : kikikanri@city.tomakomai.hokkaido.jp

共 催 : 苫小牧市、NPO 法人 環境防災総合政策研究機構

樽前山の山頂には、今も白い蒸気を上げるプリンの形をした『溶岩ドーム』があります。これは、1909年(明治42)年に樽前山が噴火したときに、山頂から出た熱い溶岩が流れなくて冷えて固まったものです。

